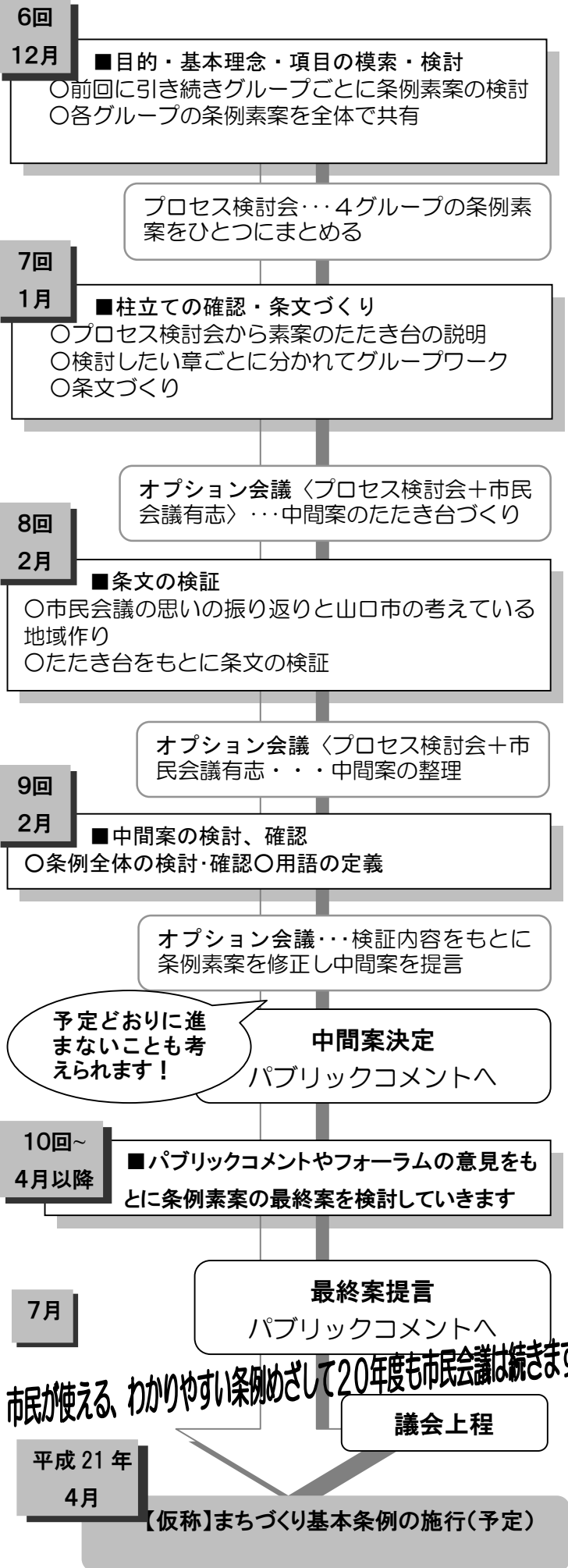


これからの市民会議スケジュール

【資料 1】



山口市 協働のまちづくり 市民会議



第6回

☆日時☆

平成19年12月15日(土)

13:00~17:00



☆場所☆

山口総合支所 第10・11会議室

☆テーマ☆

『条例素案づくり』②

目的・理念・項目の検討

☆本日のプログラム☆

13:00 スタート・委員紹介・前回の振り返り・プログラム説明

13:25 グループワーク(90分)
○前回の作業の続き
最初に前回休んだ人との内容共有、班長会議を実施して進め方を共有します
○目的・理念・柱立てをまとめる

14:55 グループ発表(@25分×4)
○条例素案の発表
○目的・理念・柱立ての意見交換

16:35 まとめ(15分)

16:50 次回にむけての説明

17:00 終了 アンケート記入



※前回同様、会議の進行状況を見て、プログラムを変更することがあります。

市民が使える、わかりやすい条例めざして20年度も市民会議は続きます!

まちが元気になるためのルールって？

地域のつながりをつくり、楽しいまちづくりを進めて『山口大好き市民』を増やしていくために、みんなが動いていけるルールづくりにいよいよ取り掛かりました。

今回は、各自考えてきた素案の目的・基本理念を発表し、それぞれが大切にしている視点別にグループに分かれて、一人ひとりがじっくりと検討してきた内容を出し合い、グループごとにまとめていく作業を行いました。委員の考えを尊重した条例づくりに向けて気の遠くなる作業ですが、しっかりと議論して産みの苦しみを通過することで、まちが元気になる条例につながると信じています。そして今回もこの作業は続きます。前回のグループごとの条例素案の目的、基本理念、柱立ての内容を並べてみると・・・

条例の目的

何をするためにつくるのか。他の計画や条例とは違うこの条例ならではの性格。

1班☆交流

山口らしさを活かした“まち”づくり
つながり合い、支え合う、主体的に参加出来る・しやすい“しくみ”

2班☆協働

山口市におけるまちづくりの基本的な事項を定め、協働のまちづくりを実現する

3班☆ひと

- ①「ひと・まち・歴史と自然が輝く交流と創造のまち山口」実現条例づくり
- ②住民一人ひとりが生きがいと誇りを感じるまちづくりシステムづくり
- ③行政、議会、市民（自治会、事業所、市民団体）の権利と責務の明確化

4班☆自治会

住民自治による活力あるまちづくり
・市民参画の新しい自治システム
・地域の再発見と活性化等

条例の基本理念

条例の目的を達成するための基本的考え方は何か
(ある程度大きくて、大まかで、包含するような表現で)

市民が主体となって、
・弱者の視点に立って相互理解・相互扶助
・伝統・文化・歴史を活かした新しい山口の創造
・安心（安全）して暮らせる、心に潤いのあるまちづくりを目指す

- 自発的に考え、行動し、それぞれの持てる力が発揮でき、活かされる社会となるしくみづくり
- 主権者である市民と市が責任と役割を分担しながら相互に補完していく。
- 100年、200年先にもつながって行く持続可能なまちをイメージしながら進める。

条例の精神
テーマ・キーワードは

- ①市民参画
自ら気付き行動する
市民意識を高める等
- ②協働
協働及び補完性、つながり合い、支えあう等
- ③情報共有
- ④魅力あるまち
- ⑤コミュニティ自治充実

前文：50年後、100年後に、ここに暮らす人たちが、この街で生まれて、暮らしてよかったと思える街にするため

安心・安全な暮らしができるまち
キーワード

- 自治組織、育成強化○自立、創造力、主体性、協力○相互補完○相互扶助○人材発掘○情報共有○参画・協働によるまちづくり 等

条例の原則

- ①内容が市民にわかりやすく書いてあること
- ②各主体が行動・実践できる内容であること
- ③実際に機能し、推進する仕組みがあること

条例の柱立て

基本理念を実現するため、必要となるものは(柱)は何か、柱の中にどのような項目を規定しなければいけないか具体的に表現

各主体の役割
ネットワーク
協働
情報共有
中間支援組織

行政・市長・議会
情報
事業所
教育機関
市民団体・NPO
市民・自治会
調査機関

各主体の役割
情報共有
推進機関
住民投票の実施
交流・連携
コミュニティ活動
まちづくりの協働
参加・参画
条例の位置づけ
協創・育てる条例検討見直し

各主体の役割
地域コミュニティの促進
自治組織育成強化
人材発掘
相互補完
相互扶助
情報共有
協働